

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校1年生

生活

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

秋の自然物を使って、自分が見つけた秋や楽しかった遊びについて紹介し合う。

単元(題材)名

たのしいあきいっぱい

単元(題材)目標

秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにすることができるようにする。

活用したICT機器、アプリケーション等

児童用タブレット、SKYメニュークラウド

本時のめあて

自然物で遊ぶ楽しさを、「あきのおすすめ」として紹介しあう。

写真・記録



本時の展開の概要

前時までに秋の自然物を使ったものを写真に撮り、発表ノートを作成してきた。そのノートを用いて、自分のおすすめの秋と作成した感想を発表して友達に伝えた。

ICT機器の活用でねらった効果

枯れ葉やドングリは割れたり崩れてしまうため、作品が長持ちしない。そこで、今回は作ったものを写真に撮った。また、発表時に困らないように感想を文字入力することにも取り組んでみた。

児童生徒の様子(成果や課題)

タブレットを使うことが増え、自分たちで積極的に作業を進めていくことができるようになってきた。そのため、とても喜んで取り組んでいる。また、文字を入力できるようになったことでより「記録」としての良さが実感でき、自分たちの学習の足跡として残すことに喜びを感じている児童が多い。

狭山市立柏原小学校 名前: